

「(仮称)古町地区将来ビジョン」 の方向性について

(仮称) 古町地区将来ビジョンの構成 (案)

1. はじめに

- 将来ビジョン策定の趣旨

2. 古町地区の歴史

- 江戸時代～明治時代～昭和時代～現在の古町の歴史を振り返る

3. 古町地区の現状・課題

- 現状 (歴史的街並みや花街文化など)
- 課題 (来街者の減少など)

4. 古町地区将来ビジョン

- 1) 古町地区全体のビジョン、エリア分け
- 2) エリアごとのビジョン
- 3) イメージパース (地区全体+各エリア)

古町地区の歴史

江戸時代

新潟町のはじまりと街区の形成



新潟町絵図 文政6(1823)年
新潟市歴史博物館蔵

明治時代

開港と街並みの開化



道路工事中の古町通
新潟市歴史博物館蔵

昭和時代

新潟のさらなる都市化



西堀の正月 昭和34(1959)年
新潟歴史双書

新潟町の街区構成

- ①堀 信濃川と並行して、西堀と東堀が町を貫き、この堀と信濃川を結ぶ5本の堀が掘られた。
- ②通り 店が立ち並ぶ古町通と本町通など、堀と信濃川の間に通りが設けられた
- ③小路 通りと通りの連絡通路として、通りに直交する形で小路が設けられた

街並みの開化

明治5(1872)年、新潟県令に着任した楠本正隆の赴任をきっかけに、新潟の街並みは文明開化のために改造される。

- 道路に街灯が275本設置される
- 礎町、下大川前通などの町割りをし、高級住宅街とした
- 通りに面した庇の幅を統一させた
- 町の路面を整え、街並みをそろえさせた
- 堀に物を捨てることを禁止し、堀の水をきれいに保つようにした

堀の埋め立て

昭和30(1955)年、新潟大火が発生し「新潟市火災復興土地区画整理事業計画」が建てられた。この計画により、昭和31(1956)年、東堀と一番堀が埋め立てられ主要幹線道路になった。

新潟市は、昭和39(1964)年の新潟国体開催までにすべての堀を埋めることを決めた。西堀については堀の存続の求める声が上がったものの、堀は埋め立てられた。

古町地区の歴史②

- 湊町新潟の町割りは、信濃川に沿って形づくられていた。
- 信濃川に並行して通があり、それと直行して小路が信濃川とつながり、町全体に堀がめぐらされていた。

※享保10（1725）年新潟町絵図に現在の主な施設や文化財等を重ね合わせたもの



古町地区の歴史③（みなとまち文化）

古町芸妓（花街文化）

- 江戸時代に発祥し、北前船や新潟開港により発展し、全国屈指の花街として京都祇園・東京新橋と並び称され、大正～昭和初期の最盛期には古町芸妓の数は300人を超えていた。
- 昭和62年、地元有力企業約80社の出資により「柳都振興株式会社」設立。会社組織で芸妓を育成し、古町花柳界を支えている。
- 無形文化財市山流の日本舞踊を披露する。



堀と古町芸妓

歴史的建造物

- 古町地区には戦前に建てられた歴史的建造物が、幾度の大火をくぐり抜け今なお多く残っている。
- 古町通沿いに多い町屋建築のほか、新道沿いには三業（料亭、茶屋、置屋）の建築とされる花街建築が残されている。



美や古（茶屋建築）

古町地区の現状及び課題（案）

現状

- 江戸時代に新潟湊が北前船寄港地として栄えた頃から、古町エリアは商業・業務の集積地として発展し、歴史的な街並みや花街文化等のみなとまち情緒が今も色濃く残されている。

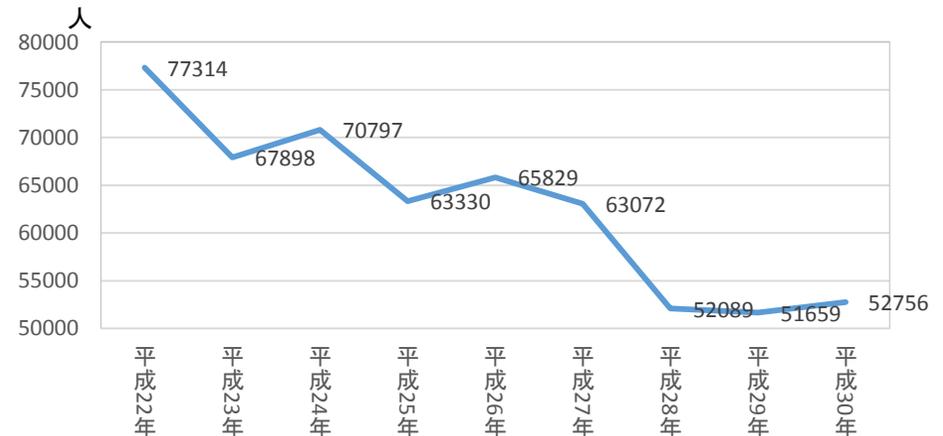
課題

- これまでは物販中心の商業地として栄えてきたが、経済成長期を経て、人口流出や郊外店の出店により、来街者が減少している。
- 令和2年3月には古町地区の唯一の百貨店である新潟三越が閉店する。

●古町地区及び郊外の主な出店・閉店状況

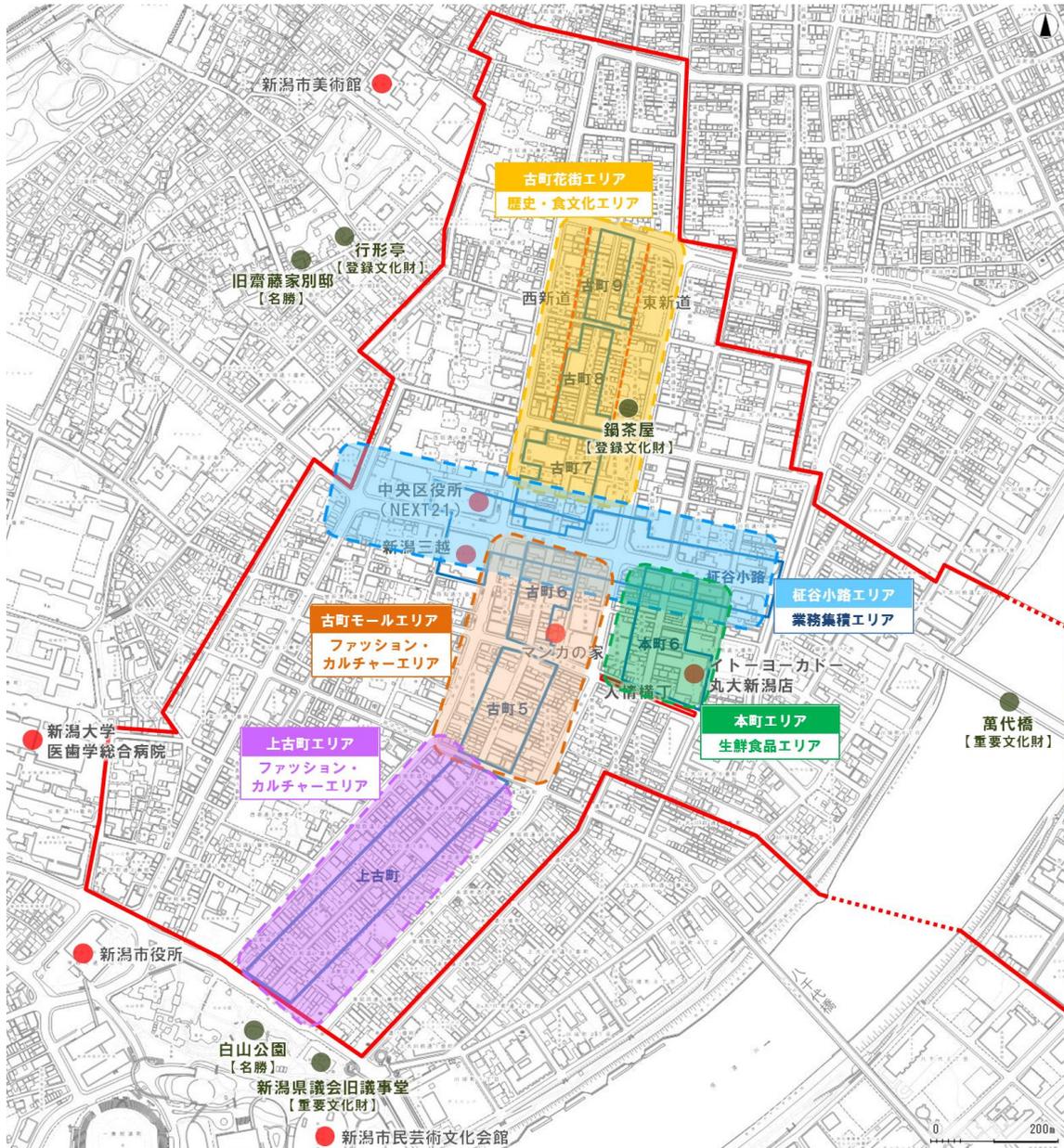
時期	古町地区	郊外
1980 (S55) 年	イチムラ百貨店(閉店)	
1981 (S56) 年	長崎屋(閉店)	
1990 (H 2) 年	緑屋(閉店)	
1993 (H 5) 年		イオン新潟東店(オープン)
1994 (H 6) 年		デッキー401(オープン)
2000 (H12) 年		アピタ新潟亀田店(オープン) 新潟サティ(オープン)
2003 (H15) 年		アピタ新潟西店(オープン)
2007 (H19) 年		イオンモール新潟南(オープン)
2010 (H22) 年	大和新潟店(閉店) 新潟ウィズ(閉店)	
2016 (H28) 年	ラフォーレ原宿・新潟(閉店)	
2020 (R 2) 年	新潟三越(閉店予定)	

●古町地区歩行者通行量



※調査日は、3月の第4金曜日。古町地区12調査地点の合計

エリア分け・ビジョンの方向性（案）



古町花街エリア

歴史・文化的な街並みや花街文化を活用した「歴史・食文化エリア」

本町エリア

新規創業候補者を呼び込むなど、「業務集積エリア」

古町モールエリア

ファッション店や文化施設等を活用した「ファッション・カルチャーエリア」

本町エリア

生鮮食料品店や市場等を活用した「生鮮食品エリア」

上古町エリア

若者向けファッション店やセレクトショップ等を活用した「ファッション・カルチャーエリア」

※平成29年度古町活性化まちづくり検討業務委託報告書を基に事務局で一部修正

エリアごとのビジョン・方向性（案）

※平成29年度古町活性化まちづくり検討業務委託報告書を
基に事務局で一部修正（修正箇所は青字表記）

古町花街エリア

現状（地域資源）

- 花街(柳都)の歴史文化、新潟の食文化を体験できるまち
- 料亭、割烹をはじめ、質の高い飲食店が集積し、魅力的な食文化を有する

ビジョンの方向性

- 歴史・文化的な街並みや花街文化を活用し、来街者を誘客し、食文化エリアとして賑わいを創出



榎谷小路エリア

現状（地域資源）

- 中央区役所や創業支援を行う産業振興財団といった行政機能等が集積
- 日本銀行、第四銀行、証券会社等の本店・支店が集積

ビジョンの方向性

- 新規創業候補者を呼び込むことで、業務集積エリアとして賑わいを創出



古町モールエリア

現状（地域資源）

- **オーバーアーケード**が設けられ、セレクトショップやファッション等の専門店が集積
- ドッグ像やマンガの家、古町演芸場といったマンガ・加チャ機能[※]を有する

ビジョンの方向性

- 洗練されたファッションの店や多様な専門店、マンガの家等を活用し、買い物客や来街者を誘引することで、ファッション・加チャエリアとして賑わいを創出



エリアごとのビジョン・方向性（案）②

※平成29年度古町活性化まちづくり検討業務委託報告書を
基に事務局で一部修正（修正箇所は青字表記）

本町エリア

現状（地域資源）

- 野菜や魚介類をはじめとする生鮮品の店舗や市場（露店）が集積
- 大型スーパーが立地するほか、隣接する人情横丁には個性的な店舗が集積

ビジョンの方向性

- 生鮮品などの店舗や市場、大型スーパーなどを活用し、地域住民の台所・日用品購入の場所として賑わいを創出



上古町エリア

現状（地域資源）

- 若者向けセレクトショップやファッション店などが集積
- 昔ながらの建物をおしゃれにリノベーションして活用している店舗が集積

ビジョンの方向性

- 昔ながらの建物のリノベーションや多様な専門店などを活用し、若者向けのファッション・カルチャーエリアとして賑わいを創出



エリアごとの特徴を活かし、地域資源をさらに磨きながら、エリア内・エリア間・周辺地区との間の回遊性を高め、古町地区全体で賑わいを創出

古町花街エリアのビジョン（案）

※平成29年度古町活性化まちづくり検討業務委託報告書を
基に事務局で一部修正（修正箇所は青字表記）

現状（地域資源）

- 花街(柳都)の歴史文化、新潟の食文化を体験できるまち
- 料亭、割烹をはじめ、質の高い飲食店が集積し、魅力的な食文化を有する

ビジョンの方向性

- 歴史・文化的な街並みや花街文化を活用し、来街者を誘客し、食文化エリアとして賑わいを創出
- 昼も夜も楽しめるコンテンツの充実による賑わいの創出



西新道



古町9商店街



東新道（鍋茶屋通り）

榎谷小路エリアのビジョン（案）

※平成29年度古町活性化まちづくり検討業務委託報告書を
基に事務局で一部修正（修正箇所は青字表記）

現状（地域資源）

- 中央区役所や創業支援を行う産業振興財団といった行政機能等が集積
- 日本銀行、第四銀行、証券会社等の本店・支店が集積

ビジョンの方向性

- 新規創業候補者を呼び込むことで、業務集積エリアとして賑わいを創出
- 業務のみならず観光やまちあるきといった来街者の増加に資する企業の創業



NEXT21



日本銀行新潟支店



新潟三越



古町ルフル（建設中）



第四銀行本店

古町モールエリアのビジョン（案）

※平成29年度古町活性化まちづくり検討業務委託報告書を
基に事務局で一部修正（修正箇所は青字表記）

現状（地域資源）

- オーバーアーケードが設けられ、ファッション等の専門店が集積
- ドラゴン像やマンガの家、古町演芸場といったマンガ・加チャ機能を有する

ビジョンの方向性

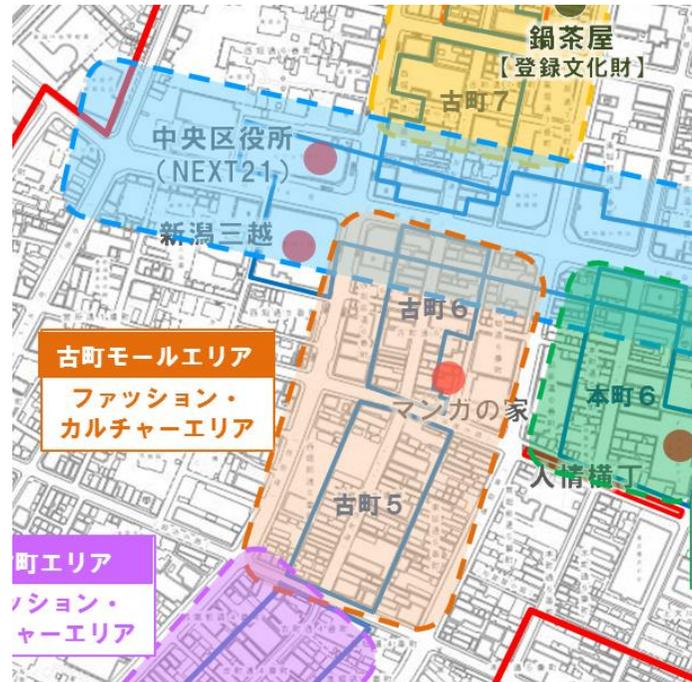
- 洗練されたファッションの店や多様な専門店、マンガの家等を活用し、買い物客や来街者を誘引することで、ファッション・加チャエリアとして賑わいを創出



古町 6 商店街



新潟市マンガの家



古町 5 商店街

本町エリアのビジョン（案）

※平成29年度古町活性化まちづくり検討業務委託報告書を
基に事務局で一部修正（修正箇所は青字表記）

現状（地域資源）

- 野菜や魚介類をはじめとする生鮮品の店舗や市場（露店）が集積
- 大型スーパーのほか、医療施設・薬局が立地
- 隣接する人情横丁には個性的な店舗が集積

ビジョンの方向性

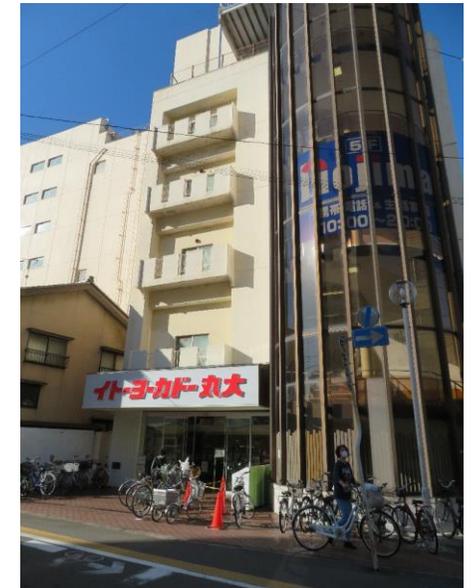
- 生鮮品などの店舗や市場、地域住民・来街者の台所機能として賑わいを創出
- 医療・日用品購入の場所として賑わいを創出



本町市場（本町6）



人情横丁



イトーヨーカドー丸大新潟店

上古町エリアのビジョン（案）

※平成29年度古町活性化まちづくり検討業務委託報告書を
基に事務局で一部修正（修正箇所は青字表記）

現状（地域資源）

- 若者向けセレクトショップやファッション店などが集積
- 昔ながらの建物をおしゃれにリノベーションして活用している店舗が集積
- 改修された落ち着いたデザインのアーケード

ビジョンの方向性

- 昔ながらの建物のリノベーションや多様な専門店などを活用し、若者向けのファッション・カルチャーエリアとして賑わいを創出



上古町商店街



上古町商店街



昔ながらの建物を
リノベーションした個店



白山神社